

わんにゃん新聞



文責：古賀



皆さん、こんにちは！
毎日暑い日が続きますね。
梅雨明けもして、いよいよ夏本番です。
熱中症には気をつけて、暑さ対策をお願いします。

ホントに怖い熱中症

今年も7月中旬に1頭わんちゃんが熱中症になりました。
熱中症にならない様に、大切なわんちゃん、猫ちゃんも涼しく夏を乗り切ってください。
犬猫は人間より4~5倍の速さで年をとっていきますので、
『去年は平気』でも、『今年も平気』ということはありませんので注意が必要です。

熱中症とは？

体温が40度以上に上昇し、よだれや嘔吐・下痢・呼吸速拍などの症状が出て、
熱により、多くの臓器が障害を起こす場合もあります。
ひどい場合にはケイレンを起こしたり、意識がなくなってしまうこともあります。
最悪、死に至る場合もあるので注意が必要です。

●熱中症になったらどうなるの？

食欲低下に加え、元気もなくなります。
耳や股の間など触ってみて下さい。いつもより熱くないですか？
体温が高すぎて電子体温計では計れなくなるくらいまで上がることもあります。
苦しうにあえぐような激しい呼吸をして、大量のよだれがでます。
嘔吐・下痢などの症状が出て、多くの臓器が障害を起こす場合もあります。
倒れて泡をふいたり、ケイレンを起こし、意識がなくなったり、
舌が紫色になり、チアノーゼを起こす場合があります。
最悪、死に至ります。

●もし熱中症になってしまったら？

病院に運ぶ間でもできることがあります。
水を体にかけて冷やすことです。
あとは、股の間、ワキ、首のあたりに保冷剤（アイスノンなど）を置いてください。



たとえ体調が悪くなくてもギリギリまで我慢してしまう犬・猫もいます。
飼い主さんが異変に気付いた時には手遅れということもあります。
ハアハアして暑そうだな、と思っていたらいきなり倒れ込んでそのまま…
ということもあります。うずくまってぐったりしていたり、元気に遊んでいたのに
いきなり倒れてしまったような時には、熱中症を疑った方が良いでしょう。
『最近元気なくて調子悪そうだけど、この暑さのせいかな？もう少し様子を見よう』
という事はせず、早めにご来院ください。

今年も“暑さ対策”をお願いします

●室内でのお留守番はエアコンをつけて!!

人が家にいるときは室内犬や猫であれば涼しい環境だと思います。ですが、飼い主さんが外出するとわんちゃん・猫ちゃんはお留守番ですね。『小窓を開けているから大丈夫。』なんてことはありませんか？人がその環境下にいたら耐えられるでしょうか。

人が耐えられない環境は毛皮を着ている犬猫にとっても耐えられません。

●外飼いの留守番はとにかく日陰、風通しよく!!

風通しの良い所に日陰を作りましょう。

“よしず”を3枚ほど重ねて日陰を作ってください。

人が立っている高さで風通しが良いのでは犬にとっては涼しくありません。

屈んで風通しがよいか、確認して下さい。

●お散歩は朝早くか夜遅くに!!

もう涼しいだろうと思っても、アスファルトはとても熱くなっていて、低温ヤケドする事がよくあります。人間よりも地面近くに体もあります。

お散歩に行く前に手の平をアスファルトに触れて熱くないか確認して出かけましょう。

短頭種(シーズー・フレンチブルドッグ・パグなど)や肥満気味のわんちゃんは特に暑さに弱いので

バンドナの中に小さい保冷剤を入れて首に巻いてあげるだけでも涼しく、お散歩できると思います。



塚崎トレーナーのしつけのいろは

《第14回：ウンチを食べてしまう》

文責：塚崎

排泄後ウンチを食べてしまったり、留守中にした形跡があるのにウンチが残っていないという話をよく聞きます。人間では考えられないことですが、犬にとって食糞は自分のニオイを隠すための野性の習性の名残ともいわれていて、それほど驚くことではありません。いつの間にかやめてしまうことが多いのですが、その原因は案外飼い主さんにあるのかもしれませんが。いくつか考えられる原因をあげてみますので思い当たることがないか確認してみてください。

①ウンチを失敗したときにひどく叱っていませんか？

叱られた経験から、食べて隠してしまおうと思っていることがあります。

また、食糞する犬を見た飼い主さんが大騒ぎしているのを喜んでいと勘違いしてしまっているのかもしれません。

過剰に反応せずサッと片付けてしまいましょう。



②トイレと犬のベットが近すぎませんか？

サークルの中にトイレも置いている場合、

犬はできるだけ自分の居場所から離れたところでウンチをしたいのに

トイレが近すぎて不快になり、食べてなくしてしまっていると考えられます。

サークルを広くするか、トイレを別にしてみましょう。

③消化酵素が足りないなど、犬の体質に問題がある場合もあります。

サプリメントを活用したり、吸収性が高く消化のいいフードにかえたら

食糞がなくなった例もあります。気になる方は獣医さんに相談してみましょう。



西川動物病院 43-0200